

若者みらい会議実施報告書

平成 29 年1月
山陽小野田市

目次

| | |
|--|---|
| 1. 若者みらい会議実施報告について | 1 |
| 2. 実施日・場所 | 1 |
| 3. 実施方法 | 1 |
| 4. 実施内容 | 1 |
| 5. ワークショップの結果概要 | 2 |
| (1) 山陽小野田市の「いいところ」「もっと良くしたいところ」 | 2 |
| (2) 未来日記を描こう | 3 |
| (3) 未来日記を実現するためにはどのようなことが必要かを考えよう | 4 |
| (4) 実現するためのアイデアをさらに深めよう、自分たちにできることを考えよう .. | 5 |
| 6. ワークショップの結果概要 | 7 |

1. 若者みらい会議実施報告について

本会議では、今後12年間の総合的なまちづくりの指針となる計画を策定するにあたり、市民の皆様が「住みたい・住んで良かった・住み続けたい」と感じるまちをめざすため、高校生と大学生の皆様にご集まっていただき、市政を考える機会として開催しました。

会議では山陽小野田市の「いいところ」「10年後どんなまちになったらいいか」などを話し合い、共有しました。

2. 実施日・場所

| | 日時 | 場所 | 参加者数 |
|-----|---------------------------|----------|------|
| 第1回 | 平成28年11月13日(日) 9:30~11:30 | 山口東京理科大学 | 7人 |
| 第2回 | 平成28年12月26日(月) 9:30~11:30 | 山口東京理科大学 | 6人 |

3. 実施方法

市の魅力や施策ごとの方向性の検討にあたっては、KJ法（主にフセン紙に意見を書きだし、グループごとにまとめていく手法）で実施しました。

4. 実施内容

若者みらい会議では以下の流れで進め、意見を出し合いました。

| | |
|-----|--|
| 第1回 | 第二次総合計画の概要説明、若者みらい会議趣旨説明 |
| | グループワーク① ・テーマ:「山陽小野田市のいいところを考えよう」 |
| | グループワーク② ・テーマ:「未来日記を描こう」 |
| | グループワーク③ ・テーマ:「未来日記を実現するためにはどのようなことが必要かを考えよう」 |
| | グループ発表 |
| 第2回 | 前回会議のおさらい |
| | グループワーク① ・テーマ:「実現するためのアイデアをさらに深めよう」 |
| | グループワーク② ・テーマ:「自分たちにできることを考えよう」 |
| | グループ発表 |

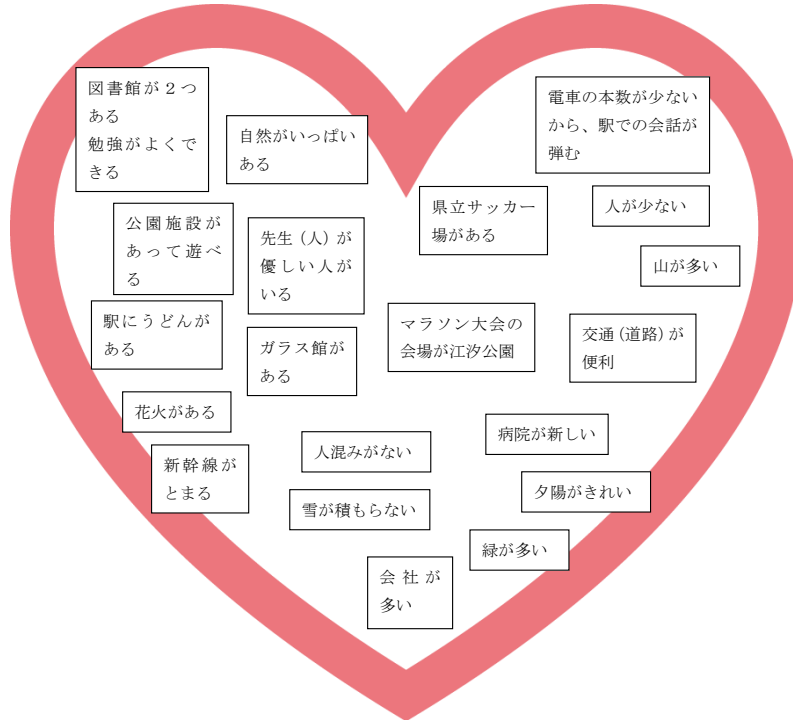
5. ワークショップの結果概要

(1) 山陽小野田市の「いいところ」

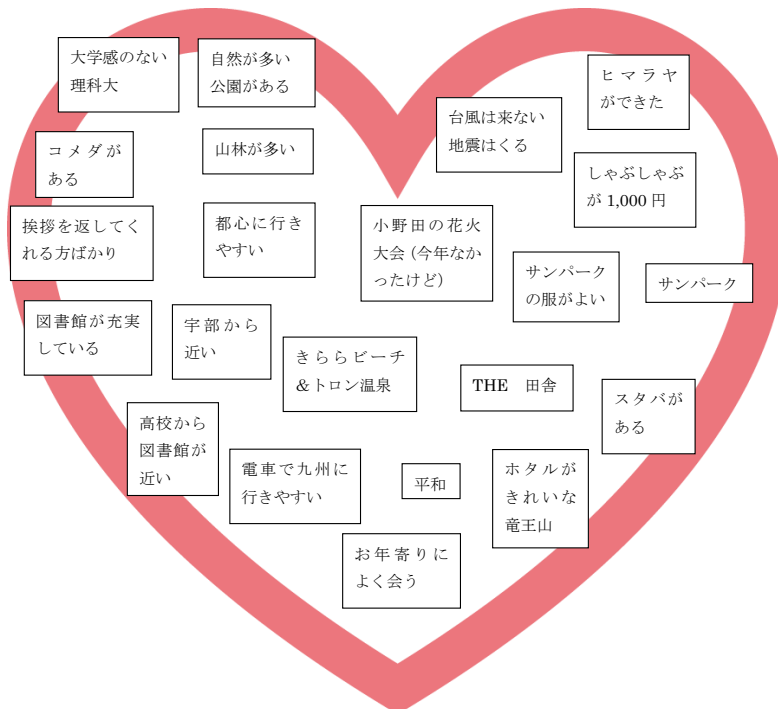
【※第1回山陽小野田若者みらい会議平成28年11月13日(日)実施内容】

今の山陽小野田市のいいところを出してもらいました。

We ♡ 山陽小野田 1班



I ♡ 山陽小野田 2班

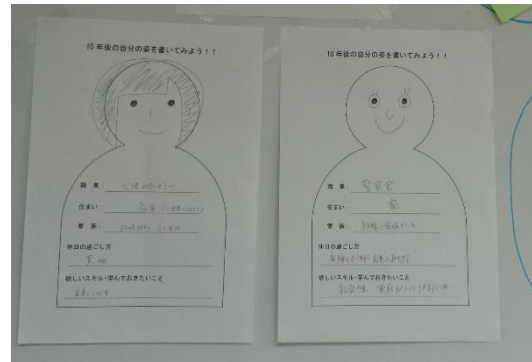


(2) 未来日記を描こう

【※第1回山陽小野田若者みらい会議平成28年11月13日(日) 実施内容】

自分が10年後どのような姿になっているかを考え、書いてもらいました。また自分の姿も踏まえながら、山陽小野田市が10年後どのような姿になっているかを考えてもらいました。

◆10年後の自分の姿



◆福祉

子どもが多い町

福祉のさかえた町

お年寄りになっても
仕事を紹介してもら
える

学校の数が減ってい
ない

もっと電車とバスが
ほしい(少し不便)

安く一軒家が建てら
れる



◆文化

広い地域でイベント
ができるようにした
い

サッカー場が増え
て、男女両方山陽小
野田で試合が見たい

音楽に触られる施
設
音楽スタジオ

ガラス文化のさらな
る発展

競技カルタで盛り上
がる町



◆街並み・お店

町の電灯が多い
明るい町

人の気配が全くない
ところが減ってほし
い

病院が充実している

スポーツ施設が充実
している

おいしい居酒屋

おしゃれなお店

遊園地

みんなと仲良く

◆教育

いい教育が受けられる町

少人数制の学校が増えていたらいいな



◆交通

道路がきれいに！

電車の本数が増えて子どもの通学の便がよくなってほしい

事故が少なくて安心して暮らせる町

◆遊び

都会でやっている話題のイベントをやってみる

小さい子も遊べる施設

若者も遊べるところがほしい！（サンパーク以外で）

（3）未来日記を実現するためにはどのようなことが必要かを考えよう

【※第1回山陽小野田若者みらい会議平成28年11月13日(日) 実施内容】

いいところと未来日記（どんなまちになったらいいか）のギャップを埋めるために何が必要かを考えてもらいました。

また、これからも住んでいたい、このまちに帰ってこようと思うためのアイデアを考えてもらいました。

山陽小野田市民全員で競技カルタをして、ギネス認定される

年齢層の幅が広い運動会とか（江汐とか竜王山を使って）

自由教育プロジェクト

いろいろなことが経験できる（Ex.職場体験、農業体験など）

おいしい食べものを作って小野田から発信！おいしい食べもの、締め、ラーメンなど

電車やバスにみんなで乗ろう、使おうプロジェクト

道路、町をきれいに江汐や竜王山を使ってゴミ拾いや道路のゴミ拾い

街灯の形を変えて設置

おしゃれなお店を入れつつ、文化もふれあえるような商店街？



(4) 実現するためのアイデアをさらに深めよう、自分たちにできることを考えよう

【※第2回山陽小野田若者みらい会議平成28年12月26日(月)実施内容】

第1回会議で出た、これからも住んでいたい、このまちに帰ってこようと思うためのアイデアをさらに深めました。そのアイデアに対し具体的にどのような内容をしたらよいかを考えるとともに、深めたアイデアについて自分たちで何ができるかを考えてもらいました。

◆自由体験プロジェクト◆

| | |
|-----------|--|
| 該当するテーマ | 自由に好きな職場を体験できる |
| プロジェクトの説明 | 企業側と学生が自由に参加できる職場体験を募集することで、企業側、学生側の双方にメリットがある |

◆競技かるたで町おこし◆

| | |
|-----------|---|
| 該当するテーマ | 競技かるたで盛り上がるまちづくり |
| プロジェクトの説明 | 競技かるたに触れる機会を増やすため、百人一首を覚える会(練習会みたいなもの)を開く ↓ 市民大会や学校ごとにトーナメント戦をする(山陽小野田市で競技かるたが盛り上がれば、ギネスもあるかも) ↓ 山陽小野田市で大会を開く イベントへの積極的な参加。高校生・大学生 |

◆ガラスで町おこし◆

| | |
|-----------|---|
| 該当するテーマ | ・ガラス文化の普及 ・市民参加で大きな「モノ」を作る！！ |
| プロジェクトの説明 | まだまだ市民になじみのないガラス文化を… ↓ ・小中高で体験を増やす！ ・市民制作(市民病院のガラス)をやる！(例:宇部のイルミネーションのようなものを作る) ・公共施設に多く展示(学校とか)(理大の薬学とか) |

◆福祉の充実日本一！！◆

| | |
|-----------|---|
| 該当するテーマ | 住みよいまちづくり |
| プロジェクトの説明 | 福祉の充実には民間だけでなく「市」の協力が必要 ↓ ・バスの充実。1乗車 100円とか… ・介護士の養成←企業と協力 ・市の雇用←お年寄りでも働ける仕事の紹介 |

◆SNS プロジェクト◆

| | |
|-----------|----------------------|
| 該当するテーマ | ユニークな物、絶景 |
| プロジェクトの説明 | シンボリックなオブジェクトをガラスで作る |

◆小野田市カラフルプロジェクト◆

| | |
|---------|----------------|
| 該当するテーマ | いろんな意味で街をカラフルに |
|---------|----------------|



6. ワークショップの結果概要

- ・福祉分野では、いいところとして病院が多いことが挙げられています。どんなまちになったらいいかでは子どもが多いまちや福祉の充実したまちなどが挙げられています。これらを踏まえて、福祉を充実させていくためには行政と民間との協力が不可欠であることや、高齢者の支援として介護者の養成、高齢者の社会参加として働く場の確保といった意見が挙げられました。
- ・交通分野では、いいところとして電車で九州に行きやすい、新幹線が止まるなど交通の利便性がよいことが挙げられています。どんなまちになったらいいかでは電車の本数が増えて子どもの通学がもっと良くなるという意見が挙げられています。交通分野でのアイデアでは、交通の便と高齢者の生活支援を踏まえて路線バス運行の充実などが挙げられています。
- ・産業・観光分野では、いいところとしてきららビーチやトロン温泉、きららガラス未来館などがあることが挙げられています。どんなまちになったらいいかではガラス文化の更なる発展や居酒屋やおしゃれなお店など商工業の充実が求められています。産業・観光分野でのアイデアでは、ガラス分野でまちおこしとして小・中・高等学校でのガラス体験や公共施設におけるガラス展示等の PR をしていくといった内容が挙げられています。また、雇用の創出としてインターンシップの機会の充実が挙げられており、企業側・学生側双方にメリットがあり、雇用の活性化につながるというアイデアも出ています。
- ・教育・文化分野では、いいところとして山口東京理科大学があることや図書館が充実していること、サッカー場があることなどが挙げられています。どんなまちになったらいいかではいい教育が受けられるまち、広域でのイベントの開催、競技カルタで盛り上がるまちなどが挙げられています。教育・文化分野でのアイデアでは、競技カルタでのまちづくりとして、競技カルタに触れる機会を増やししながら、市民大会や学校ごとの大会を行うことで市内の機運を高めつつ、市で全国大会などを開き、競技大会で盛り上がるまちをつくっていくといったアイデアも出ました。